



持続的な発展と持続可能な社会の構築への貢献

環境問題に対する意識が高まる中、真大和では環境に配慮した取り組みを進めています。自然環境や地域社会と調和するよう技術、設備等、幅広く努力しています。また、これらの環境に優しい取り組みは、企業の社会的責任を果たすことにも繋がります。さらに、心豊かに安心して暮らせる地域社会のために、これからも責任を果たしていきます。

主な事業



砂利採取事業



土木事業



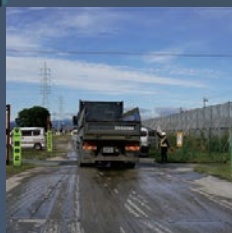
土地活用農業



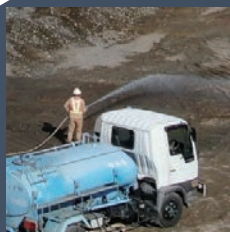
野菜販売



真大和は地域の皆様とコミュニケーションを大切にし、万全の安全対策・環境保護対策を実施いたします。



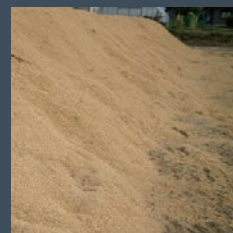
警備員配置
安全対策



散水による
粉塵防止



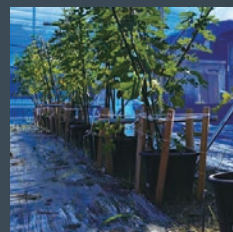
車輪の洗浄
粉塵防止



砂利採り後
もみ殻土壌改良



ハウス農業で
自動化推進



土地活用農業
ポット栽培

株式会社 真大和

住 所：〒438-0824 静岡県磐田市赤池 446

TEL：0538-37-5381 FAX：0538-37-9735

URL：https://shinyamoto.co.jp/

グループ会社：有限会社正晃開発 株式会社泰成



主な事業：砂利採取事業 土木事業 土地活用農業 野菜販売

建設業許可：静岡県知事許可（般—4）第 23461

砂利採取法に基づく登録番号：静岡県登録第 907 号

産業廃棄物収集運搬業許可：第 02201123058 号

所有機材：10t ダンプ 7 台 50t 級ショベル 2 台 振動ローラー 1 台

バックホウ (0.7m3) 3 台 ブルドーザー (D61) 1 台

農業分野：圃場面積約 60 アール（葉物・果実）



INTERNSHIP イカターカ即ツゴ 大募集

仕事体験 インターンシップ情報

タイプ1：体験型

(学生の取得情報は採用に生かさせていただきます)

受付及び実施期間：通期

実施期間：5日以上 (ex：会社説明、圃場概要、チンゲン菜播種・畝作り・定植・収穫
出荷・イチジク収穫・出荷等、砂利採取現場見学、フィードバック)

対象学生：4年制 3年生～4年生 短大制 1年生・2年生

対象作物：チンゲン菜、イチジク、キウイフルーツ

タイプ2：1日～2日の就労体験 (1 day Intern Ship)

受付及び実施期間：通期

実施期間：1日～2日 (ex：会社説明、圃場概要、圃場での体験及び砂利採取現場見学など)

対象学生：4年制 3年生～4年生 短大制 1年生・2年生

対象作物：チンゲン菜、イチジク、キウイフルーツ

●申し込み方法

- ・メール (agri@t-st.biz) 担当：農業事業部佐野宛
- ・メール申込時に氏名 (フリガナ)、メールアドレス、学校名・学部・学科、ご卒業年月連絡先 (携帯)、希望体験 (タイプ1又は2)、体験希望日程 (○月、△月など第3希望まで) 交通手段、事前に担当者 (佐野) に伝えておきたい事を記入してメールをお願いします

●開催場所：磐田市赤池446 (本社) 及び磐田市赤池・竜洋、浜松市浜名区永島の各圃場

(汚れても良い服装・靴をご用意ください)、昼食は各自でご用意願います

●就業時間：就業時間は相談に応じます。

●申し込み受付後にエントリーシートをお送りします。

●先輩のコメント

バイト (主婦)：

- ・アットホームな雰囲気で明るい会社
- ・自分で考え、どうしたら上手くいくかを教えてくれる
- ・困ったことがあれば相談に乗ってくれる人が沢山いる

社員 (R7年4月入社)

- ・残業がほぼ無い
- ・耕作放棄地の活用に興味があり入社し実際、そのような土地を活用している

人材不足の農地を活用した農業推進

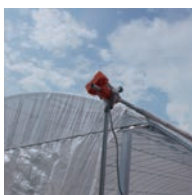
砂利採取後の土地や高齢化により利用なくなった農地を借り上げ、新たな農業につながる農地へ再生。農業従事者の高齢化や後継者不足により、農家の減少が続いており、特に畑の担い手不足による遊休農地や耕作放棄地が増加しています。当社は、農地を手放したい農地所有者やリタイアする農家から農地を借り上げ農地の再生利用を推進しています。

当社は、植物が成長する環境と効率を考慮して自動化農業設備を推進し作業負担の軽減等効率の良い農業を行っております。

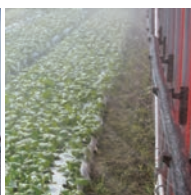
さらに省エネ化を目指し、地球環境に優しい農業を目指します。



自動化ハウス



自動開閉装置



自動散水



ポット栽培



防虫ネット



今年中に事務所改修を計画中 (業務しやすい環境を整備)

- ☑ 農作業の基礎知識体験
- ☑ 農業自動化の設備を学ぶ
- ☑ 砂利採取後の土地活用農業のビジネスモデルを学ぶ

